

第67回労働施設検討会議 議事要旨

1 と き 令和6年2月26日(月) 午後7時03分～午後8時55分

2 ところ 西成区民センター 1階 ホール

3 出席者

(有識者3名)

福原大阪市立大学名誉教授

寺川近畿大学准教授

白波瀬関西学院大学人間福祉学部教授

(行政機関15名)

大阪労働局 平松会計課長補佐、大島職業対策課長補佐、ほか3名

大阪府商工労働部雇用推進室労働環境課 中村参事、佐々木課長補佐、ほか5名

西成区役所 柏木総合企画課長、狩谷総合企画課企画調整担当課長代理、ほか1名

(地域メンバー13名)

山田大阪国際ゲストハウス地域創出委員会委員長

山田NPO法人釜ヶ崎支援機構理事長

山田NPO法人サポーターズハウス連絡協議会代表理事(代理)

横田公益財団法人西成労働福祉センター業務執行理事

荘保わが町にしなり子育てネット代表

吉岡釜ヶ崎キリスト教協友会共同代表

森下釜ヶ崎反失業連絡会共同代表(代理)

山中釜ヶ崎日雇労働組合委員長

野崎全日本港湾労働組合関西地方本部建設支部西成分会代表

稲垣釜ヶ崎地域合同労働組合執行委員長

水野日本寄せ場学会運営委員

ありむら釜ヶ崎のまち再生フォーラム事務局長(渉外担当)

小林新型コロナ、住まいとくらし緊急サポートプロジェクトOSAKA責任者

(事業紹介)

公益財団法人西成労働福祉センター 小幡代表理事 他4名

4 議題

- ・西成労働福祉センターにおける新たな取組状況の報告について

5 議事要旨

(1) 前回会議の振り返り

（２）主な議事の概要

- ・ 早朝業務に関する新たな取組みの修正等について
- ・ 就労支援拠点をめざす新たな取組状況の報告について

（３）主なご意見と今後の対応

＜主なご意見＞

○ 早朝業務に関する新たな取組みの修正等について

- ・ センターさんとして、早朝業務について考え方は何か変わったのか。その重要性について何か気づかれたのか。
- ・ 早朝の寄り場についてどう思ってるか聞こえてこないの、また分からないままスーッと引いていくみたいな、そんな怖さを１年前に感じた。

○ 就労支援拠点をめざす新たな取組状況の報告について

- ・ 就労支援拠点を目指すには、対面方式であろうが、デジタル方式であろうが、双方向でないと成り立たないが、特にデジタルの中での双方向性というのは感じ取れない。
- ・ 孤立している労働者たちに対して、素朴な相談を受けたり、返したり、という地道なやり取りや役割が必要だと思う。双方向性と言うか、その辺りが総合受付の説明や情報発信を行っていくというところではなかった。
- ・ 本当にダイナミックに事業が変わってきてる。今後の方向性としては、大阪府全域と言っていいぐらいのイメージで利用者さんの増加っていうのを図っていくのが望ましい。
- ・ 早朝業務において、センターの関与を少しでも薄めるのは、絶対あかんと思っている。
建設労働者の就労雇用に関する取り決め、法律がある訳だから、路上の求人とか、その実態を把握して監督するとか、何か問題あったらそれを指摘するとかは、そもそも国の責任。国も責任持って取りこぼしがないよう本来の責任を今後しっかり役割果たしてほしい。

＜今後の対応＞

- ⇒ 労働市場の多様化、日雇労働市場の縮小の中で、それらを活性化していく取組みをセンターは始めている。特に困難を抱えている人たちにはニーズに合わせた求人開拓、就労だけでなく生活の領域も含めた相談対応など新たなチャレンジに取り組んでいる。
- ⇒ この一年センターで本当にいろんなことを実施されてきたことに驚くばかり、本当によくされてると思うが、まだまだ課題はある訳で、それをしっかり受け止めて、さらにいいものを作っていただければと思う。

6 会議資料

配布資料

- ・ 第 66 回労働施設検討会議 議事概要（案）

参考資料

- ・ 第 66 回労働施設検討会議 議事要旨（案）